

相馬藩主相馬家の相馬雪香さんと、1979年日本初の難民を助ける会をつくり、 ともに活動を続けてきた柳瀬房子さんをお招きします。



多くの外国人が、なぜ日本に来るのか、なぜ来ない（来られない）のか。何を求めてくるのか。私たちはそれに応えられているのか。そもそも、私たちは外国人に何を求めて受け入れているのか・・・。

突き詰めていくと、多様な文化的・政治的背景をもつ外国人と、ますます多様化する日本人とが、この日本という空間で、一緒にどのような社会を築き、どのように暮らしていくのか、また、この世界のなかで日本はどのような役割を果たし、世界の人々とどのように助け合っていくのか・・・、そうした社会の姿を描き、そのなかに難民制度を当てはめて考えることが大切なのだと気づかされます。

「難民に冷たい国？ニッポン」から

日 時：令和8年4月21日（火）18：30から

会 場：白河市立図書館・地域交流室

**講 師：NPO難民を助ける会元理事長・法務省難民審査参与員
柳 瀬 房 子 さん**

演 題：「多文化共生の課題 ―難民支援から考える―」

参加費：500円（塾生 無料） 問合せ先 立教志塾 0248-23-1427

主 催：（公財）立教志塾・白河ユネスコ協会

後 援：白河市・同教育委員会